

問題1 「情報デザインの考え方」に関する次の設問に答えよ。

<設問1> 「情報デザインとは」に関する次の各問に答えよ。

(1) 次の文章中と図1の( )に入れるべき適切な語句を解答群から選べ。

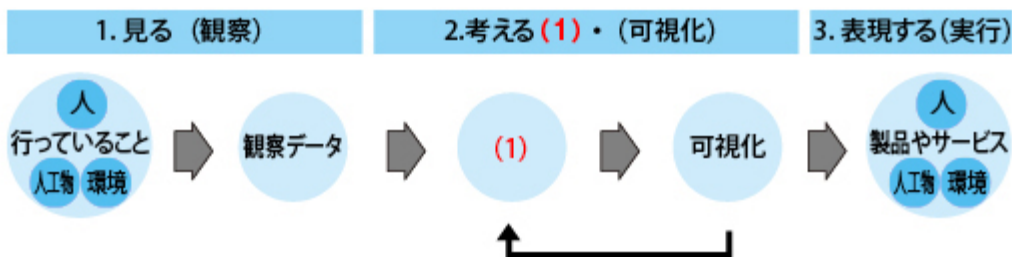


図1 情報デザインの考え方

新しい製品やサービスの開発では、未知の課題に取り組むことも必要とされる。そのためには、問題を抱えている人たちの行動を観察し、観察結果から導き出した(1)をもとにアイデアを考え、最終的な製品やサービスとして実現し、ユーザに提案していく力が求められる。

(1) の解答群

ア. 証明

イ. 議題

ウ. 仮説

エ. 論説

## 問題 1 → < 設問 1 >

(2) 次の文章中の ( ) を表す適切な語句を解答群から選べ。

1990年代半ば以降、インターネットや携帯電話の普及にともない、私たちが目にする情報量は膨大になっている。毎日たくさん送られてくるメールや無数に存在する Web ページで得た情報とうまく付き合えないと、情報の洪水におぼれてしまうことになる。このような情報過多の時代では、(2) 必要な情報を受け取れる人と、そうでない人との間に情報量に差が生じ、それによって「情報強者」と「情報弱者」の格差が生まれ、深刻な問題になっている。

### (2) の解答群

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ア. サスティナブルデザイン | イ. インフラ       |
| ウ. デジタルデバイド    | エ. ナレッジマネジメント |

問題 1 → < 設問 1 >

(3) 次の表 1 の ( ) に入れるべき適切な語句を解答群から選べ。

表 1 コミュニケーションの歴史

コミュニケーションの種類	例
言語の使用以前のコミュニケーション	ラスコーの洞窟壁画など
文字の誕生とコミュニケーション	くさび形文字、ヒエログリフ、甲骨文字など
人類最初の情報流通量の拡大とコミュニケーション	(3)
高度情報化社会のコミュニケーション	SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) など

(3) の解答群

ア. ラジオ

イ. テレビ

ウ. 印刷技術

エ. 電話

問題 1 → < 設問 1 >

(4) 次の文章中の ( ) に入れるべき最も適切な語句を解答群から選べ。

仕事をする上では、さまざまな人と協同し、情報を共有することが必要になる。情報共有のためには、仕事の発注者が受注者と依頼内容に関わる問題点や要求を把握するためのオリエンテーション、依頼仕事の提案を伝えるためプレゼンテーション、また社内でプロジェクトを進めるための打合せやそれに必要な (4) などが使われる。一般に仕事の目的や計画、利用する (4) がきちんと共有できないと、一緒に考え協力して仕事を進めることが困難になる。

(4) の解答群

ア. 記録

イ. プロジェクタ

ウ. 写真

エ. 資料

問題 1 → <設問 2> 「情報とモラル」に関する次の各問に答えよ。

(5) パスワードの付け方として最も適切なものを解答群から選べ。

**(5) の解答群**

- ア. 自分の生年月日や氏名等の間違えにくいものにする。
- イ. なるべく少ない文字数にして入力しやすいようにする。
- ウ. 英単語をつなぎ合わせて覚えやすいものにする。
- エ. 数字や英大文字, 英小文字等を取り混ぜて推測されにくくする。

問題 1 → <設問 2 >

- (6) 次の文章はセキュリティポリシーについて説明したものである。( ) に入れるべき適切な語句を解答群から選べ。

企業や学校等の組織ではセキュリティポリシーを定め、それを (6) に周知徹底することで、情報漏洩等の事故を未然に防ぐ努力をしている。

(6) の解答群

- |             |            |
|-------------|------------|
| ア. 組織に属する全員 | イ. 一部の管理職  |
| ウ. 部外者      | エ. 卒業生や退職者 |

問題2 「情報の収集と整理」に関する次の設問に答えよ。

<設問1> 「調査の考え方」に関する次の各問に答えよ。

(7) 次の文章中の ( ) に入れるべき適切な語句を解答群から選べ。

調査を行う場合、何のために調査をするのかという目的を明確にする必要がある。例えば、すでに状況把握ができており、問題点も明らかで、それを説明するための仮説や解決するためのアイデアがある場合には、その仮説やアイデアの妥当性を確かめるための調査を行う。この調査のことを (7) と呼ぶ。

(7) の解答群

ア. 検証調査    イ. 比較調査    ウ. 品質調査    エ. 事前調査

## 問題2→<設問1>

(8) 対象者に質問をしながら直接意見を聞き、活動や意見を知ることをインタビュー調査と呼ぶ。インタビューの対象者を設定する最も適切な方法を解答群から選べ。

### (8) の解答群

- ア. アンケート内容のターゲットとは関係なく、積極的に意見を述べる人物をインタビューの対象者として優先して選出する。
- イ. アンケート内容のターゲット層やそれに近いセグメントに絞ってインタビューの対象者として選出する。
- ウ. アンケート内容のターゲットとは関係なく、幅広い属性でインタビューの対象者として選出する。
- エ. アンケート内容のターゲットとは関係なく、アンケート調査の関係者をインタビューの対象者として選出する。



問題2→<設問2> 「調査手法」に関する次の各問に答えよ。

(9) 調査には、定量調査と定性調査がある。定性調査に該当する最も適切な調査を解答群から選べ。

**(9) の解答群**

- ア. 製品の機種別販売台数を店舗別に集計する。
- イ. 製品の使用記録からエラーの発生件数を定期的に統計する。
- ウ. ユーザに製品を操作した印象を直接答えてもらう。
- エ. ユーザに製品の使いやすさを5段階の評価で回答してもらう。

問題2→<設問2>

(10) ユーザがシステムや機器、サービスなどの利用の目的を達成するにあたって必要な行動、およびその手順を具体的かつ詳細に定義するための手法として最も適切な語句を解答群から選べ。

(10) の解答群

ア. タスク分析

イ. PMBOK

ウ. フィールドワーク

エ. 参与観察

問題2→<設問3> 「分析と整理」に関する次の各問に答えよ。

(11) インタビュー調査で収集した結果は、定性調査の分析方法にもとづいて行う。  
定性調査のデータ分析の方法として最も不適切な内容を解答群から選べ。

(11) の解答群

- ア. 結果データから話題を書き出して要素化する。
- イ. 否定語の頻出頻度を数値化して統計を集計する。
- ウ. 同じ種類の話題や要旨をグループ化する。
- エ. 集約を構造化し、多角的に分析する。

問題2→<設問3>

(12) アンケート調査で得られた回答データを、調査対象の属性と合わせて次の表1にまとめた。この名称として最も適切なものを解答群から選べ。

表1 製品Aの1週間の利用時間についてのアンケート集計結果

	20代	30代	40代	50代	合計
1時間未満	24	53	42	12	131
1時間以上～2時間未満	18	21	41	24	104
2時間以上～3時間未満	54	58	25	35	172
3時間以上～4時間未満	34	25	12	24	95
4時間以上	5	3	10	8	26
合計	135	160	130	103	528

(12) の解答群

ア. 分布図

イ. クロス集計表

ウ. 単純集計表

エ. 比率

問題3 「問題の解決と発想」に関する次の設問に答えよ。

<設問1> 「問題解決の考え方」に関する次の各問に答えよ。

(13) 次の文章中の ( ) に入れるべき最も適切な語句を解答群から選べ。

これからの社会では、問題解決能力がどの程度身につけているかが重要になる。そのためは、まず「問題」とは何かを把握していなければならない。図1は、問題解決の流れを簡単な図で表したものである。この図1の(13)にあたる部分が「問題」ということができる。このように「問題」とは、現在の状態とあるべき基準との(13)であるといえる。

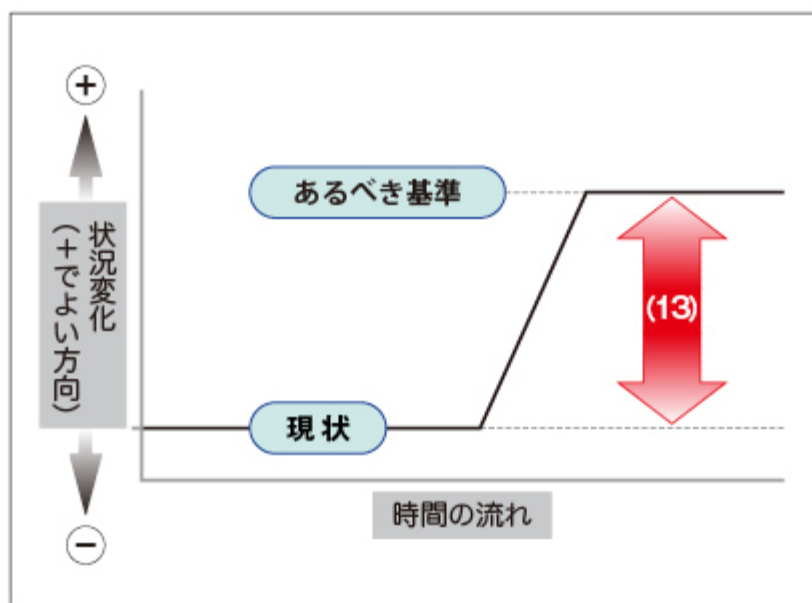


図1 問題とは何か

(13) の解答群

- ア. 積み重ね    イ. ギャップ    ウ. 傾斜    エ. 時間経過

### 問題3→<設問1>

(14) 社会においては、グループを組んで問題解決にあたることが多い。その場合、問題意識の共有が重要となる。「問題意識の共有」について適切な内容を解答群から選べ。

#### (14) の解答群

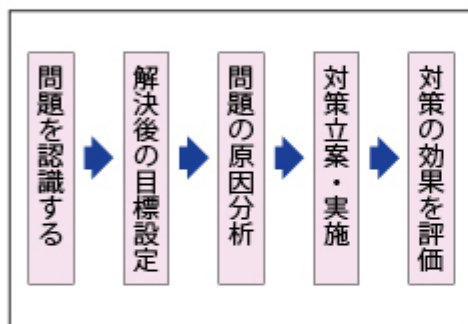
- ア. グループのリーダーが問題だと判断したことだけをメンバー全員で共有するとよい。
- イ. 問題解決の対策を考える前に、何が問題なのかをグループ内で話し合うことが大切である。
- ウ. メンバーで問題意識を共有すると、考え方が同じになるので、解決策のバリエーションが少なくなる。
- エ. 同じ問題を感じた人たちだけでグループを組むことが、問題意識を共有することである。

問題3→<設問1>

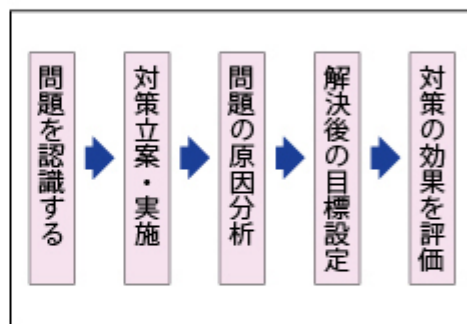
(15) 問題解決の基本プロセスを表した最も適切な図を解答群から選べ。

(15) の解答群

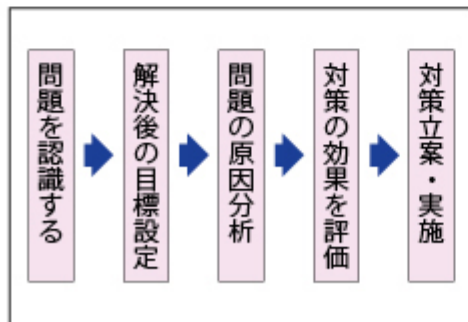
ア



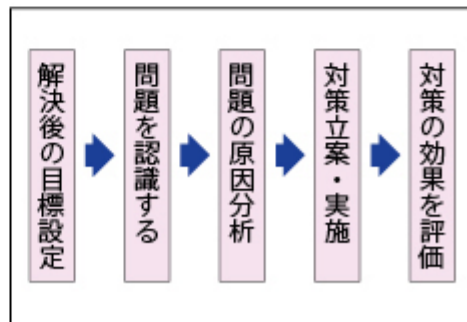
イ



ウ



エ



問題3→<設問2>「問題解決手法」に関する次の各問に答えよ。

(16)「ブレインストーミング」についての説明で最も不適切なものを解答群から選べ。

**(16) の解答群**

- ア. 具体的なテーマをかかげ、明確に相互認識させてから行うとよい。
- イ. 「批判禁止」「自由奔放」「質より量」「結合改善」というルールで行う。
- ウ. たくさんアイデアを出すために参加者は多いほどよく、50名以上は必要である。
- エ. 全員が見渡せる配置と、書き残せる大きな用紙を用意するとよい。



### 問題3→<設問2>

(17) 次の文章中の ( ) に入れるべき適切な語句を解答群から選べ。

問題解決でよく使われ、ヒエラルキーに分類されるツールに「ロジックツリー」がある。「ロジックツリー」は、問題究明などのために、(17) の考え方に基づいて論理的に階層化し、ツリー状に分解・整理するためのツールである。(17) とは、わかりやすい言葉に言い換えると「モレなく、ダブリ(重複)なく」ということになる。

#### (17) の解答群

ア. SWOT    イ. AIDMA    ウ. PDCA    エ. MECE

問題3→<設問2>

(18) 次の図2のように、「ロジックツリー」を使って分類したとき、(a)～(c)に入れるべき最も適切な語句の組み合わせを解答群から選べ。

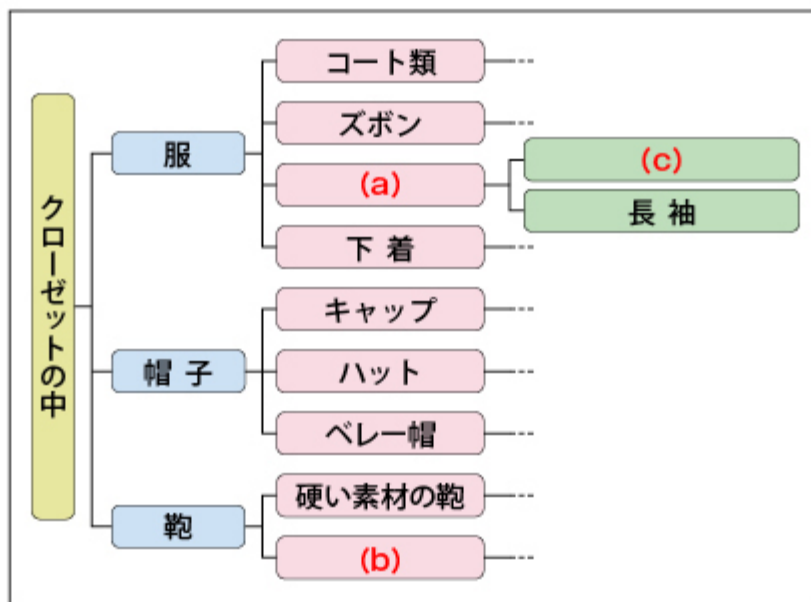


図2 Jさんのクローゼットの中の分類

(18) の解答群

- |             |              |           |
|-------------|--------------|-----------|
| ア. (a) シャツ  | (b) 柔らかい素材の靴 | (c) 半袖    |
| イ. (a) ハンカチ | (b) 布製の靴     | (c) 半袖    |
| ウ. (a) 靴下   | (b) 柔らかい素材の靴 | (c) 半袖    |
| エ. (a) シャツ  | (b) 布製の靴     | (c) トレーナー |

問題4 「情報の構造化と表現」に関する次の設問に答えよ。

<設問1> 「情報構造の考え方」に関する次の各問に答えよ。

(19) 次の文章中の ( ) に入れるべき最も適切な語句を解答群から選べ。

情報の構造化とは、物事を成り立たせるために必要な要素を組み立て、ひとまとめのモノにする作業のことを指す。その目的は複雑な情報を扱いやすくし、その中にある情報の関係性を示し、わかりやすくすることである。そのためには情報の意味を要素に分解し、(19) を基準に論理的に納得のいくしくみと形にまとめていく (グループ化) 作業が必要となる。

(19) の解答群

ア. 情報の価値      イ. 諸要素の特徴      ウ. 関係性の軸      エ. 作業のゴール

問題4 → <設問1>

(20) 次の (a) と (b) はそれぞれ何らかの関係性をもっている。それぞれがもつ関係性として適切な組み合わせを解答群から選べ。

(a) [調味料の関係性] : 塩, コシヨウ, 醤油, みそ

(b) [調理法の関係性] : 野菜を切る → ゆでる → 味付けをする

(20) の解答群

ア. (a) 並列 (b) 順列      イ. (a) 順列 (b) 分岐

ウ. (a) 分岐 (b) 因果      エ. (a) 因果 (b) 階層

問題4 → <設問1>

(21) 次の情報構造の説明とその事例を表す構造名として適切なものを解答群から選べ。

[説明] 物語のように、始まりから終わりまでの順序が決まっており、全体の流れをつかみやすい。

[事例] 書籍／マニュアル／レシピ／スライドショー／手順など。

(21) の解答群

ア. 重ね合わせ    イ. 空間の拡大    ウ. 放射状    エ. 線形

問題4 → <設問1>

(22) 次の図1は情報の構造を表したものである。適切な構造名を解答群から選べ。

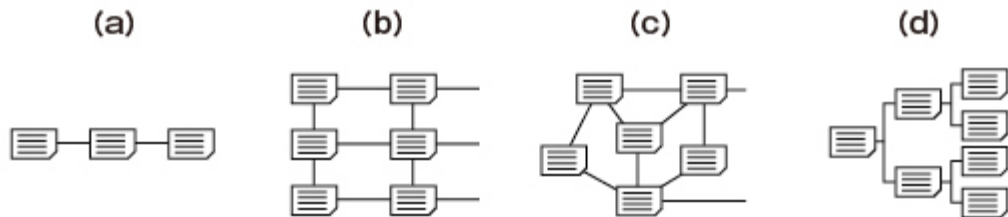


図1 構造図

(22) の解答群

- ア. (a) リニア型 (b) ツリー型 (c) マトリックス型 (d) ネットワーク型  
イ. (a) パラレル型 (b) マトリックス型 (c) ネットワーク型 (d) ツリー型  
ウ. (a) リニア型 (b) マトリックス型 (c) ネットワーク型 (d) ツリー型  
エ. (a) パラレル型 (b) ツリー型 (c) マトリックス型 (d) ネットワーク型

問題4→<設問2> 「情報表現の手法」に関する次の各問に答えよ。

(23) 次の図2はドーナツ店のメニューである。情報の要素を効果的に表現するために、レイアウトの基本となる考えとして、コントラスト・整列・反復・近接がある。(23)のドーナツの写真のレイアウトに使われていない手法として最も適切なものを解答群から選べ。



図2 ドーナツ店のメニュー

(23) の解答群

- ア. コントラスト    イ. 整列    ウ. 反復    エ. 近接

#### 問題4→<設問2>

(24) 次の文章中の ( ) に入れるべき内容として最も不適切なものを解答群から選べ。

近年、交通機関の発達により人々の行動範囲の広がったことや、言語や習慣の異なる人々が交流する機会が増えたことで、情報を文字や言語に頼らず伝達する必要性が増えている。チャートやグラフは、インフォメーショングラフィックスの一つであり、言葉や文字だけの情報をわかりやすく整理して、図案化する手法である。これには (24) などのメリットがある。

#### (24) の解答群

- ア. 大量の情報を詳細に伝えられる。
- イ. 情報をすばやく直感的に伝えられる。
- ウ. 情報を視覚的に理解しやすい伝え方ができる。
- エ. 印象に残りやすい。



**問題5 「情報の伝達と評価」に関する次の設問に答えよ。**

＜設問1＞ 「情報の伝達」に関する次の各問に答えよ。

**(25)** 次の文章中の (a) と (b) を表す最も適切な語句の組み合わせを解答群から選べ。

プレゼンテーションを行うには、3つの能力が必要である。1つ目は、話し方や伝え方、提案のしかたなどパフォーマンスにかかわる (a) スキル。2つ目は、企画の目的を明確にし、ターゲットや目的に沿ったプレゼンテーションのシナリオを作成するための (b) スキル。3つ目は、物事の専門性と人柄や印象を形成するヒューマンスキルがある。

**(25) の解答群**

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| ア. (a) パーソナル     | (b) ロジカルシンキング  |
| イ. (a) パーソナル     | (b) コンセプトメイキング |
| ウ. (a) コミュニケーション | (b) コンセプトメイキング |
| エ. (a) コミュニケーション | (b) ロジカルシンキング  |

問題5→<設問1>

(26) 次の文章は、情報を活かすために必要なことについて説明したものである。

( ) に入れるべき適切な語句を解答群から選べ。

情報を活かすには情報を収集することは当然だが、自分にとって必要な情報を取捨選択し、整理する能力が求められる。さらに、情報の使い手になり自分の付加価値をつけ、新しい価値を他者へ提供するために情報を (26) することが重要となってくる。

(26) の解答群

ア. デザイン

イ. プレゼンテーション

ウ. ルール化

エ. フィードバック

問題5→<設問1>

(27) 次の文章はプレゼンテーションの事前準備とリハーサルについて説明したものである。最も不適切なものを解答群から選べ。

(27) の解答群

- ア. プレゼンテーションのリハーサルでは、できる限り本番と同じように実施することが重要である。
- イ. プレゼンテーションの前に、自分の視線の送り方などの基本動作も確認しておくことが重要である。
- ウ. プレゼンテーションのリハーサルでは、自己チェックに加えて、他者からの客観的なフィードバックが重要である。
- エ. プレゼンテーションの前に準備する発表用の原稿は、話す順のポイントをまとめるよりも、全てのセリフを書き出しておくほうが重要である。

問題5→<設問1>

(28) 次の文章はグループでコミュニケーションを図るときに求められることを説明したものである。最も不適切なものを解答群から選べ。

(28) の解答群

- ア. チームワーク力を高めるには、メンバー間の信頼関係をより深めることが重要である。
- イ. グループディスカッションでは、テーマについて詳しい人が発言し議論を行う方が最も正しい方向性を見出せる。
- ウ. 情報の交換と共有を図るには、メンバー同士で報告・連絡・相談を徹底することが大切である。
- エ. チームの目的や目標を達成させるためには、役割を分担し個人の力を最大限に活用することが大切である。

問題5→<設問2>「評価とフィードバック」に関する次の各問に答えよ。

(29) ユーザビリティ評価として適切な説明を解答群から選べ。

**(29) の解答群**

- ア. あらかじめ用意した質問に答えてもらう形で、満足度や受容性を評価する。
- イ. ユーザの認知の7段階モデルをもとに、専門者がタスクを実行して評価する。
- ウ. 人間の感覚で評価する。格付け法・一対比較法・順位付け法・採点法などがある。
- エ. ユーザに操作を行ってもらい、使いにくさ・わかりにくさを発見する。

問題5→<設問2>

(30) 定性評価の結果を表したものとして最も適切なものを解答群から選べ。

(30) の解答群

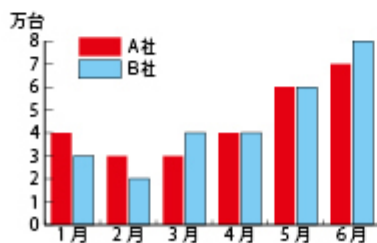
ア

	国語	英語	数学	理科	社会	平均	順位
木村	88	76	55	62	80	72.2	4
佐藤	68	62	59	73	71	66.6	5
鈴木	76	74	78	81	79	77.6	1
高橋	96	94	62	51	69	74.4	3
山田	90	74	56	65	98	76.6	2

イ



ウ



エ

